



平成 26 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 8 月 2 日

会社名 株式会社 静岡中央銀行

URL <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清野 真司

問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 那須田 研二

TEL 055-962-6113

四半期報告書提出予定日 平成 25 年 8 月 12 日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 1 四半期	3,524	△1.0	771	△3.8	440	△18.0
25 年 3 月期第 1 四半期	3,564	2.0	801	41.3	538	38.5

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 1 四半期 170 百万円 (—%) 25 年 3 月期第 1 四半期 △554 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 1 四半期	18.36	—
25 年 3 月期第 1 四半期	22.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 1 四半期	584,941	35,338	6.0
25 年 3 月期	575,291	35,228	6.1

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 1 四半期 35,338 百万円 25 年 3 月期 35,228 百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26 年 3 月期	—	—	—	—	—
26 年 3 月期 (予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	6,030	△9.7	900	7.7	600	10.9	25.00
通 期	11,870	△13.8	1,210	△6.9	770	1.5	32.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	24,000,000株	25年3月期	24,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	—株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	24,000,000株	25年3月期1Q	24,000,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(5) 重要な後発事象	6
5. 補足情報【平成 26 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明資料】	7
(1) 損益の状況（単体）	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示（単体）	8
(3) 自己資本比率（国内基準）	8
(4) 時価のある有価証券の評価差額（単体）	9
(5) デリバティブ取引（単体）	9
(6) 預金・貸出金の残高（単体）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権による経済政策や金融緩和政策への期待感から円安・株高基調に好転し、輸出や生産など、大手製造業の一部に持ち直しの動きが見られ、企業収益も回復傾向を示すなど、全体としての景況感は緩やかに改善されつつあります。当行の主要な営業エリアである静岡県・神奈川県地域経済におきましても、景況感に改善傾向が見られるほか、6月に“富士山の世界文化遺産登録”が決定するなど、明るい材料もでてきました。

このような状況下、当行は、平成 24 年 4 月より、第 9 次中期経営計画『TRY II』をスタートし、行動指針「更なる改革と前進」のもと、基本方針である「お客様中心主義の実践」に努め、平成 25 年 4 月には、“CS ショップ 3 号店”マークイズ静岡出張所を開設するなど、地域の皆さまやお客様のニーズに合ったサービスの提供、諸施策の推進に努めてまいりました。

当第 1 四半期累計期間の連結ベースの経営成績は、以下の単体の経営成績を主因とし、連結経常収益は 35 億 24 百万円、連結経常費用は 27 億 53 百万円となりました。その結果、連結経常利益は 7 億 71 百万円となり、連結四半期純利益は 4 億 40 百万円となりました。

【単体の経営成績】

① 預金・貸出金

預金につきましては、地域振興を目的とした地元商店街等との連携による「お買い物券付定期預金」や、年金関連定期預金「バースデー」等の年金関連サービスなど、個人のお客様のニーズに合った商品の提供に努めたほか、法人のお客様についても、医療・介護分野における診療報酬振込の増加に努め、積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、当第 1 四半期末の預金残高は前年同期比 171 億 35 百万円 3.3%増の 5,303 億 36 百万円となり、うち個人預金は前年同期比 148 億 92 百万円 3.9%増の 3,966 億 26 百万円、うち法人預金は前年同期比 22 億 42 百万円 1.7%増の 1,337 億 9 百万円となりました。

貸出金につきましては、地域の企業や個人のお客様のニーズに積極的に対応し、特に製造業、医療・介護分野などの資金ニーズを中心に、「地域力創生ファンド」等による成長基盤強化支援を実施・展開してまいりました。その結果、当第 1 四半期末の貸出金残高は前年同期比 51 億 38 百万円 1.1%増の 4,430 億 25 百万円となり、うち中小企業等向け貸出金は前年同期比 38 億 81 百万円 0.9%増の 4,096 億 45 百万円、貸出金に占める中小企業等向け貸出金比率は 92.4%となりました。

② 利益

当第 1 四半期の経常収益につきましては、貸出金利息の減少等により、前年同期比 42 百万円 1.2%減収の 34 億 98 百万円となりました。

経常費用につきましては、有価証券関係費用の増加等により、前年同期比 7 百万円 0.2%増加の 27 億 67 百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比 50 百万円 6.4%減益の 7 億 31 百万円となり、四半期純利益は、前年同期比 91 百万円 17.3%減益の 4 億 33 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 96 億 50 百万円増加（前年同期比 208 億 48 百万円増加）の 5,849 億 41 百万円となり、純資産は、前連結会計年度末比 1 億 10 百万円増加（前年同期比 36 億 79 百万円増加）の 353 億 38 百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末比 95 億 40 百万円増加（前年同期比 171 億 69 百万円増加）の 5,496 億 3 百万円となりました。

主な内訳として、貸出金は、住宅ローン等を中心に前連結会計年度末比 37 百万円増加（前年同期比 51 億 38 百万円増加）の 4,430 億 25 百万円となり、預金は、個人預金を中心に前連結会計年度末比 62 億 98 百万円増加（前年同期比 173 億 16 百万円増加）の 5,297 億 11 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 5 月 10 日に公表した業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成 25 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成 25 年 6 月 30 日)
(資産の部)		
現金預け金	17,324	26,585
有価証券	106,660	107,148
貸出金	442,988	443,025
その他資産	1,650	1,714
有形固定資産	8,596	8,622
無形固定資産	646	704
繰延税金資産	1,720	1,542
支払承諾見返	1,056	1,058
貸倒引当金	△5,352	△5,458
資産の部合計	575,291	584,941
(負債の部)		
預金	523,413	529,711
借用金	7,178	9,954
その他負債	3,911	4,659
賞与引当金	408	209
役員賞与引当金	44	—
退職給付引当金	1,381	1,389
役員退職慰労引当金	470	476
睡眠預金払戻損失引当金	23	23
偶発損失引当金	429	374
再評価に係る繰延税金負債	1,745	1,745
支払承諾	1,056	1,058
負債の部合計	540,062	549,603
(純資産の部)		
(株主資本)		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	0	0
利益剰余金	28,749	29,130
株主資本合計	30,751	31,131
(その他の包括利益累計額)		
その他有価証券評価差額金	1,227	956
土地再評価差額金	3,249	3,249
その他の包括利益累計額合計	4,477	4,206
純資産の部合計	35,228	35,338
負債及び純資産の部合計	575,291	584,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日)
経常収益	3,564	3,524
資金運用収益	2,743	2,551
(うち貸出金利息)	(2,363)	(2,157)
(うち有価証券利息配当金)	(373)	(390)
役務取引等収益	251	273
その他業務収益	439	306
その他経常収益	128	392
経常費用	2,762	2,753
資金調達費用	238	244
(うち預金利息)	(235)	(241)
役務取引等費用	189	198
その他業務費用	—	212
営業経費	1,899	1,864
その他経常費用	434	234
経常利益	801	771
特別利益	—	—
特別損失	2	0
固定資産処分損	2	0
税金等調整前四半期純利益	799	771
法人税、住民税及び事業税	148	9
法人税等調整額	112	321
法人税等合計	261	330
少数株主損益調整前四半期純利益	538	440
四半期純利益	538	440

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	538	440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,092	△270
土地再評価差額金	—	—
その他の包括利益合計	△1,092	△270
四半期包括利益	△554	170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△554	170

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報 (平成 26 年 3 月期 第 1 四半期 決算説明資料)

(1) 損益の状況 (単体)

- 「コア業務粗利益」は、役務取引等利益が増加したものの、資金利益の減少 (△ 1 億 98 百万円) 等により、前年同期比 1 億 92 百万円 7.6%減益の 23 億 28 百万円となりました。
- 「コア業務純益」は、経費が減少 (△13 百万円) したものの、資金利益の減少等により、前年同期比 1 億 79 百万円 25.9%減益の 5 億 12 百万円となりました。
- 「経常利益」は、株式等関係損益の改善 (+ 4 億 41 百万円) を主因として、前年同期比 50 百万円 6.4%減益に止まり、7 億 31 百万円を計上することができました。

(単位: 百万円)

	26 年 3 月期	前年同期比	25 年 3 月期	(参考)
	第 1 四半期		第 1 四半期	25 年 3 月期
業務粗利益	2,422	△538	2,961	11,168
コア業務粗利益 (注1)	(2,328)	(△192)	(2,521)	(9,404)
資金利益	2,304	△198	2,503	9,265
役務取引等利益	23	6	17	138
その他業務利益	94	△345	439	1,764
(うち国債等債券関係損益 (5 勘定戻))	(94)	(△345)	(439)	(1,764)
経費 (除く臨時処理分) (△)	1,815	△13	1,829	7,025
人件費 (△)	1,020	0	1,019	4,025
物件費 (△)	695	6	688	2,709
税金 (△)	99	△20	120	291
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前) (注2)	606	△525	1,132	4,143
コア業務純益 (注3)	512	△179	692	2,379
①一般貸倒引当金繰入額 (△)	△41	△34	△7	454
業務純益	648	△490	1,139	3,688
うち国債等債券関係損益 (5 勘定戻)	94	△345	439	1,764
臨時損益	82	440	△357	△2,558
②不良債権処理額 (△)	139	90	49	2,515
個別貸倒引当金繰入額 (△)	139	90	49	2,492
偶発損失引当金繰入額 (△)	—	—	—	23
償却債権取立益	4	3	0	31
株式等関係損益 (3 勘定戻)	327	441	△114	391
その他臨時損益	△109	84	△194	△464
退職給付費用 (△)	4	△9	14	56
経常利益	731	△50	781	1,130
特別損益	△0	2	△2	△237
固定資産処分損益	△0	2	△2	△237
税引前四半期純利益	731	△47	778	892
法人税、住民税及び事業税 (△)	6	△134	141	699
法人税等調整額 (△)	291	178	112	△401
四半期純利益	433	△91	524	594
与信費用 (① + ②)	97	55	42	2,970
コア業務粗利益 OHR (注4)	77.9%	5.4%	72.5%	74.6%

- (注 1) コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 国債等債券関係損益
(注 2) 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
(注 3) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益
(注 4) コア業務粗利益 OHR = 経費 ÷ (業務粗利益 - 国債等債券関係損益)

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 (単体)

○ 平成 25 年 6 月末の「金融再生法開示債権 (単体)」は 156 億 34 百万円 (前年同期比 +36 億 80 百万円) と
なり、総与信に占める割合は 3.51% (前年同期比 +0.79%) となっております。

	(単位 : 百万円)		(参考)
	平成 25 年 6 月末	平成 24 年 6 月末	平成 25 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,610	3,194	7,398
危険債権	8,723	8,468	8,830
要管理債権	301	291	243
合 計	15,634	11,954	16,472
総与信残高 (末残)	444,481	439,320	444,432
総与信に占める開示債権額の割合	3.51%	2.72%	3.70%

(注) 1. 記載金額は単位未満を、比率は小数点第 3 位を切り捨てて表示しております。

2. 上記の四半期末 (平成 25 年 6 月末) の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については、以下の点につき年度末又は中間期末に開示する計数とは異なるため計数は連続しておりません。

○ 平成 25 年 6 月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」の金額は、同年 3 月末時点における債務者区分 (※) をベースとし、同年 3 月末から 6 月末までの倒産、不渡り、延滞等の客観的事実のほか、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い、平成 25 年 6 月末残高にて開示しております。

○ 平成 25 年 6 月末の「要管理債権」の金額は、同様に同年 3 月末時点における「要管理債権」をベースとし、同年 3 月末から 6 月末までに新たに「要管理債権」となった貸出債権、および回収状況ならびに債務者区分の変更を勘案し、平成 25 年 6 月末残高にて開示しております。

※ 債務者区分との関係

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)
- ・危険債権 (破綻懸念先の債権)
- ・要管理債権 (要注意先のうち、元本又は利息の支払が 3 ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

(3) 自己資本比率 (国内基準)

○ 平成 25 年 9 月末の連結自己資本比率は 11.0% 程度、連結 Tier I 比率は 9.9% 程度を予想しております。
○ 平成 25 年 9 月末の単体自己資本比率は 10.9% 程度、単体 Tier I 比率は 9.8% 程度を予想しております。

(参考)

	平成 25 年 9 月末 (予想値)	平成 25 年 3 月末 (実績)	平成 24 年 9 月末 (実績)
	連結 自己資本比率	11.0% 程度	10.97%
うち Tier I 比率	9.9% 程度	9.86%	9.83%
単体 自己資本比率	10.9% 程度	10.80%	10.68%
うち Tier I 比率	9.8% 程度	9.72%	9.73%

(注) 上記予想値は、経営環境他に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額 (単体)

○ 平成 25 年 6 月末の「時価のある有価証券の評価差額」は、+14 億 62 百万円 (前年同期比+47 億 97 百万円) となっております。

【 評価差額 】

(単位：百万円)

(参考)

	平成 25 年 6 月末				平成 24 年 6 月末				平成 25 年 3 月末			
	時価	評価 差額	うち益	うち損	時価	評価 差額	うち益	うち損	時価	評価 差額	うち益	うち損
その他有価証券	104,501	1,462	3,577	2,114	87,701	△3,335	1,355	4,690	104,012	1,876	2,974	1,097
株式	16,378	2,389	3,181	792	14,127	△3,050	797	3,847	15,472	1,071	1,990	919
債券	78,489	△660	246	906	66,476	395	468	73	80,271	704	764	59
その他	9,633	△266	149	415	7,098	△680	89	769	8,267	99	218	118

(注) 1. 平成 25 年 6 月末の「評価差額」及び「含み損益」は、同年 6 月末時点の帳簿価額 (償却原価法適用後、減損処理後) と時価との差額を計上しております。なお、変動利付国債の時価については、平成 20 年 9 月末より「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第 25 号平成 20 年 10 月 28 日) に基づき、合理的に算定された価額により計上しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(5) デリバティブ取引 (単体)

該当ございません。

(6) 預金・貸出金の残高 (単体)

① 預金の状況

○ 平成 25 年 6 月末の「預金残高」は、5,303 億 36 百万円 (前年同期比+171 億 35 百万円 3.3%増) となりました。うち、個人預金は 3,966 億 26 百万円 (前年同期比+148 億 92 百万円 3.9%増) となっております。

(単位：百万円)

(参考)

	平成 25 年 6 月末	平成 24 年 6 月末	平成 25 年 3 月末
預金 (末残)	530,336	513,200	524,003
うち個人預金	396,626	381,733	389,944
うち法人預金	133,709	131,467	134,058
預金 (平残)	522,373	507,290	511,430

② 貸出金の状況

○ 平成 25 年 6 月末の「貸出金残高」は、4,430 億 25 百万円 (前年同期比+51 億 38 百万円 1.1%増) となりました。また、中小企業等向け貸出金比率は 92.4%となっております。

(単位：百万円)

(参考)

	平成 25 年 6 月末	平成 24 年 6 月末	平成 25 年 3 月末
貸出金 (末残)	443,025	437,886	442,988
うち中小企業等向け貸出金	409,645	405,763	407,532
中小企業等向け貸出金比率	92.46%	92.66%	91.99%
うち消費者ローン	121,951	113,098	119,281
うち住宅ローン	121,401	112,462	118,724
貸出金 (平残)	436,521	434,972	436,237

以上